



リリカルマジカル

キャラ
がんばる

Lyrical Magical CARD BARBARU Renai-Mangaka magic girl lyrical Mousha Fan Book This book is a thing for an adult

恋愛漫画家

初めて一緒にお風呂に入ったあの時以来
三人は時々お風呂に入るようになった。

「邪まな目で君を見でしまうかもしれない」
エリオは、海鳴から戻ってきて再び共に
お風呂に入りたがったキャロに言った。

「エリオくんは邪まなんかじゃないよ」
笑いながらキャロは言った。
鳥獣保護隊に所属していたので、
繁殖に関する知識はそれなりにある。
雄が雌を求めるのは自然な事だよ、と。

(人間の場合はちょっと違うような…)
そう思ったエリオだが、キャロの無垢な
笑顔には何も言い返せなかった。

その結果、他の人に知られず三人きりで
ならば、一緒に入る事に対しては抵抗が
なくなってきた。

そして段々、背中だけなら洗い合える
程度には慣れてきた。

キャロの華奢な背中を流すたびに、
「自分が守らねば」と思いを新たにする。
そういう意味では、こうして裸になるのも
悪くないのかもしれない。

それにしても、
キャロは、とても綺麗だ。
真っ白で、すべすべしてて。

一緒に浸かっていると、つい目が
キャロに引き寄せられる。

「上がるっか」
手を引かれた。
その時、色々と見えてしまう。

自然と大きくなる。

「なんか可愛いね」
キャロが笑った。





それはまだ、僕が拗ねて捻くれて、いじけていた頃の話。

でも、フェイトさんのおかげで少しずつ、普通の少年として生きてもいいかなって思い始めた。

だって、この人は。誰がどう見たって、僕を、そして恵まれない子供たちを、全力で愛してくれている。いつの間にか、それが分かるようになってしまった。だったら、もう、好きになるしかないじゃないか。

とある理由で、他の子供よりも複雑な事情持ちだからこそ、特に目を掛けられでるのを分かった上で僕は好きだった。

好きな人の事は知りたくなる。だから、仕事に出てる間の留守番の最中に、つい色々と探ってしまうのも子供なら仕方ない。

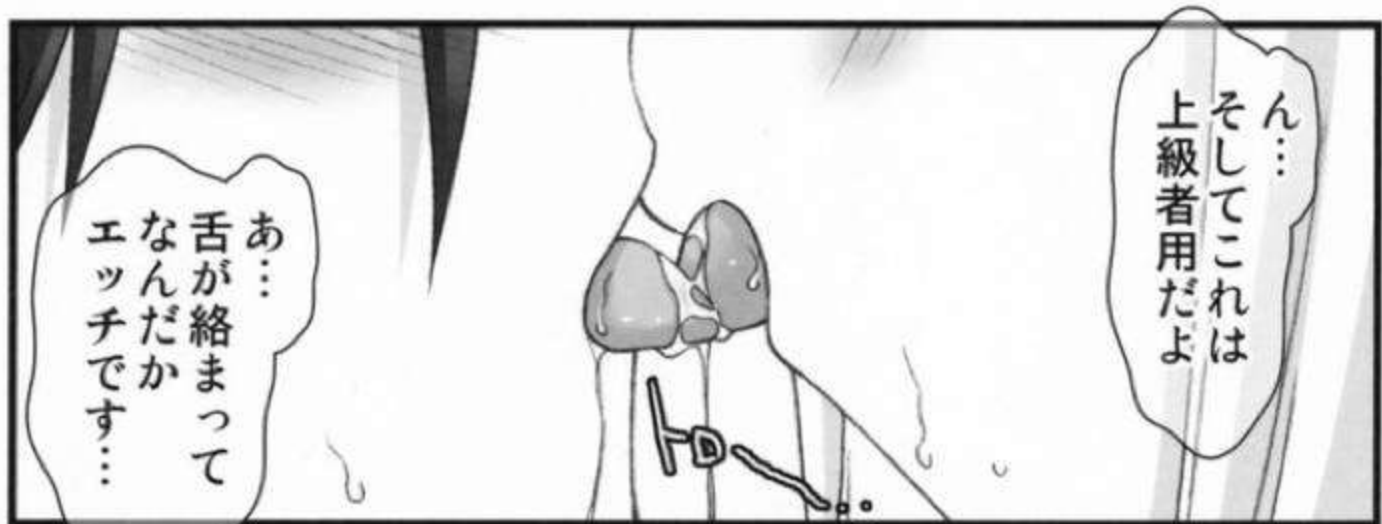
でも無駄に知識だけはあったから、記録された痴態が、どういった行為なのか分かってしまい、故に一心不乱に見入ったとしてもやはり子供だから仕方ない。

そんな言い訳を全て聞いた上で、フェイトさんは、僕の人生における最大級の拳骨をくれて、ギュッと抱きしめてくれた。

「好きになってくれてありがとう」そんな事を言われながら、ギュッと抱き締められたら。

大好きになるしかないじゃないか。

自分を縛っていた心の鎖は、その時、完全に解けた。





女の子は敏感だから…

うん…
優しく吸って

はー
はー



胸を弄られて
気持ち
良さそうでした

胸吸いますね…
フェイトさん
ビデオで

ちゅっ



なんか
変な感じ
です…

漏れそうな
不思議な
感じ…

はー
はー



ふふ…
ここはまだまだ
可愛いな

射精って
分かる？

あ…
理屈は
分かりませ



我慢しないで
全部出しちゃって
いいからね

あっ
出ちゃいます

凄い勢いで
いっぱい
出てくるね…

はあ…
これが射精なんです…

あーあーあー
あーあーあー

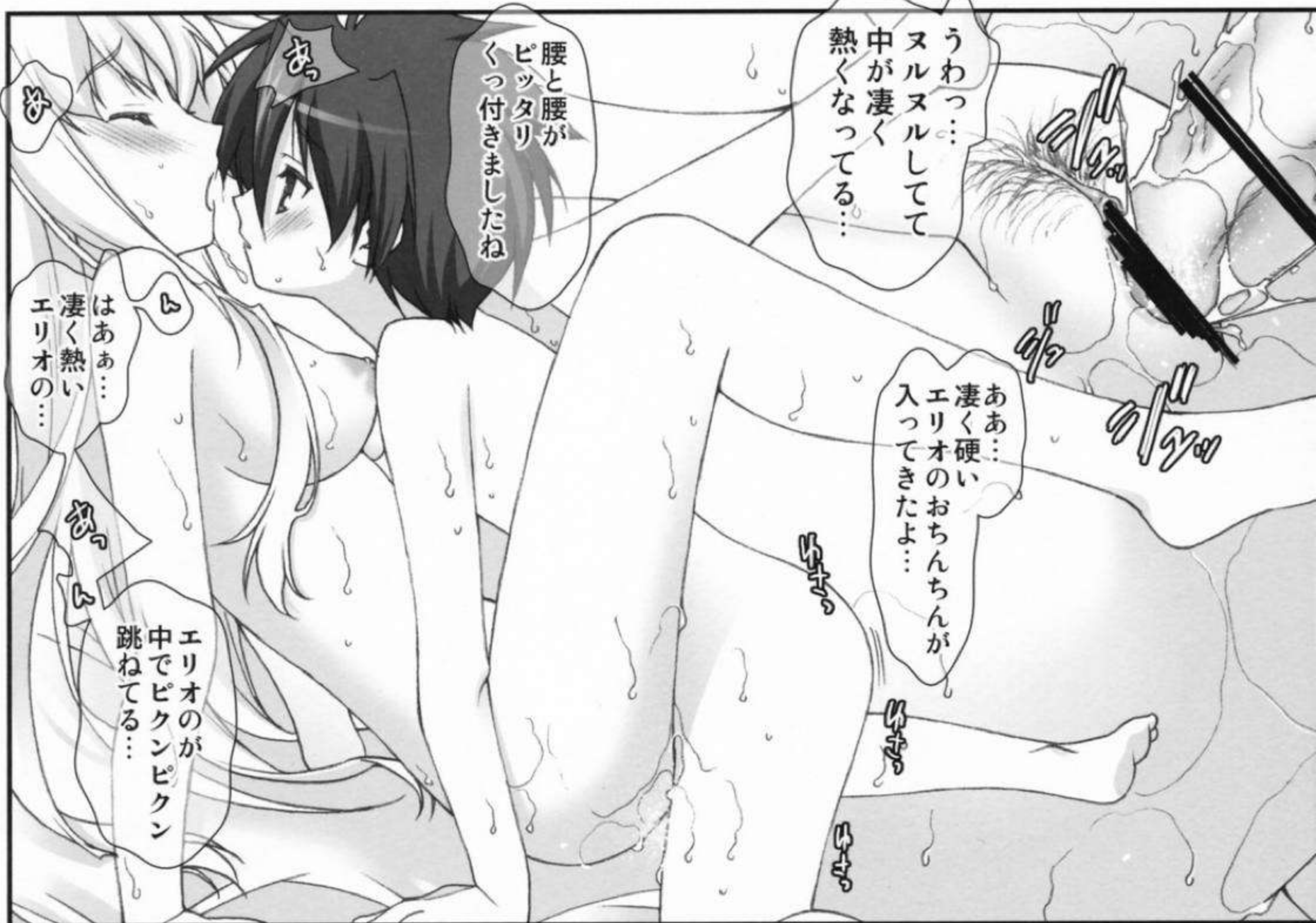
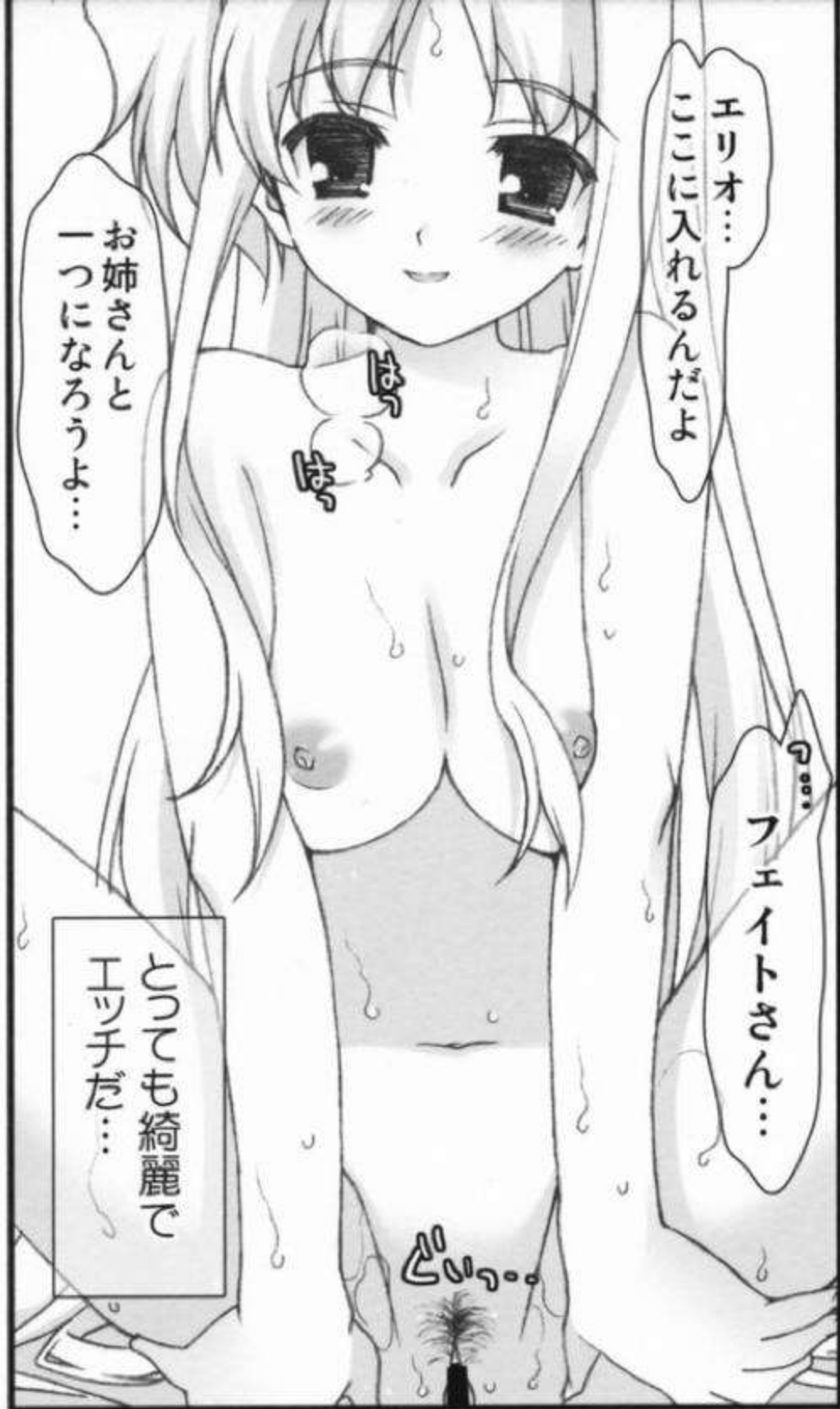
あー

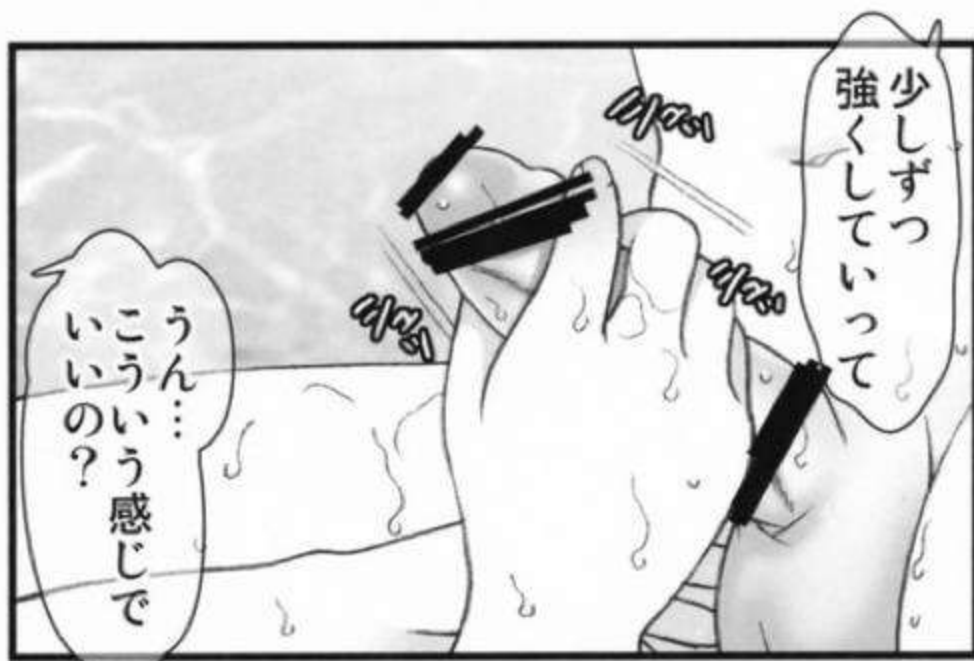
あー

ちゅっ
ちゅっ

いっ
いっ

うんっ
うんっ





エリオくん、随分変わったんだね

そうだね…人間不信は完全に消えたし
フェイトさんの為になろうと思ったよ
…まあ結局フラれたけど

そうなの?

あの人の本命には敵わないから

そんな…

…まあそれを置いていても
きつとどこまで行っても
僕らは姉と弟なんだって分かったから

…それでいいの?

今はもう納得してるよ
フェイトさんは、大好きなお姉さん

そっか…
そうだ、エリオくん経験があるんだし
女の人の裸には慣れてるんじゃない?

色々と分かってるから、リアルに
想像しちゃって、余計に恥ずかしく
なっちゃうんだ

なるほど…

それに、フェイトさんとはその後
2、3回しかしてないよ
女の子の愛し方の基本だけ
教わった感じかな

そうなんだ…
私は男の子の愛し方とかは全然
分からないけど…

それが普通だよ

でも、エリオくんがどうして
一緒にお風呂に入るのかが
分からなくて、男の子の気持ちを
知りたくていっぱい本を読んだの

…分かった?

ううん
でももしかしたら
エリオくんがフェイトさんとした事を
私もしてみれば分かる気がする…
エリオくん、お願いします!

…キャロ……

もしかしたら、昔の性格が出ちゃうかも
しれないけど…いいのかな

ありのままのエリオくんがいいの…



うん！

気持ちよくなってくれて嬉しいの



すらい...
こんなに沢山...

ゴメンね
自分で受けければ
よかったな



ほんとにゴメンね
キヤロ...

エリオくん...
もう
謝らないで

何だか
みずくさいって
思っちゃうよ...

...うん
ありがとうキヤロ
すっごく嬉しい

...うんっ



ねえ
エリオくん!

繋がって
一つになりたい!
私の中で
受け止めたい...
エリオくんを

キヤロ...



うわあっ!
ごめん
キヤロ!

我慢出来ない...
いっぱい
出ちゃうよ...

私の全部を
エリオくん
捧げます…

僕も…
ありったけ全部
キャロのものだよ

エリオくん…

キャロ…
全部僕に任せて
大切に…

うん…

エリオくんと
初めてのキス…
エリオくんに
ファーストキス
あげられた…

はあ…
キスって
とっても
素敵だね…

うん…
そうだね

次は
もっと深くだよ

あ…
エリオくんの舌が
私の中に…

私…どんどん
エリオくんのものに
なっていくちゃう
みたい…

あ…
二人とも口の周り
びしょびしょに
なっちゃったね

うん…でも
濡れた唇って
大人っぽいかも

いっぱい中で
動いてる…
かき回されてる

んん…

めっ
っ

はー
はー

はー



もう我慢が出来ないよ
エリオくん…

エリオくんと繋がりたい…
私の中に来てほしい

うん…僕も
早く繋がりたい
キャロの中に
入りたいよ

うん…

エリオくん…
私の初めてを
もらってください

喜んで!

だ…だ…
解しても良かったから

エリオくんに
心も身体も
開いてもらったから…

それじゃ…
いくからね

はい…
よろしく
お願いします

くっ…
いっぱい濡れてるけど
やっぱりキツいね…

ああ…
少しずつ中に…
押し広げられて…
入ってくるの…

んん…
やつぱり
ちよと…
うう…
結構痛いよあ…

でも…
それでも…

キャロ…
辛そうだ…

大丈夫だよ…
ちよと痛くても
エリオくんと
一つになりたいの



あ…ごめん
血が出てきちゃった

しょうがないよ
覚悟の上だし
自然な事だから



あは…
そのまま
いてくれた方が
かえって
いいかも



あ…
抜いた方が
楽かな？



くっ…
どうしたの？
エリオくん

僕の方もちょっと
先っぽがまだ
強い刺激に
慣れてないから…

そうなんだ…

キャロの中と
一緒に
粘膜が
慣れるまでは
ちよっとね



あ…
エリオくんと
ピッタリくっ付いた…

うん
一番奥まで入ったよ

はあ…私の中
本当にエリオくんで
いっぱいになってるね

本当にエリオくんに
身も心も
満たされちゃった…

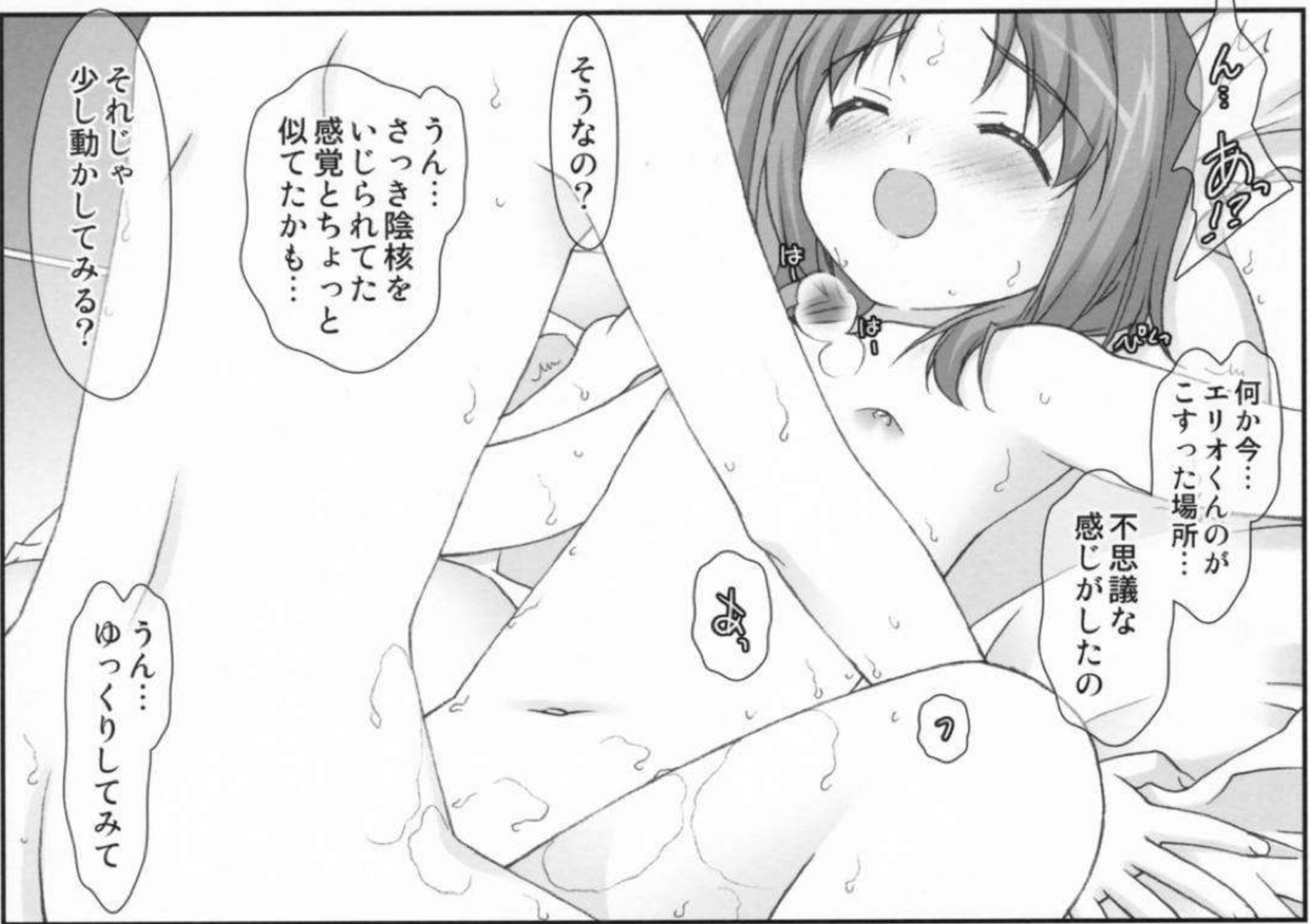
は

は

は

ん





んっ あっ!

何か今…
エリオくんのが
こすった場所…

不思議な
感じがしたの

そうなの…?

うん…
さつき陰核を
いじられてた
感覚とちよつと
似てたかも…

それじゃ
少し動かしてみる?

うん…
ゆっくりしてみて



エリオくん
ちよつと強めに
動いてみて

分かった…
ちよつとずつ
強くしてみるね



あう…
やっぱり痛いけど…
これぐらいなら
我慢できるし…

動かれる感覚自体は
心地いいかも…

それに
動いてもらうのって
ちよつと大人に
なつたみたいで
何だか嬉しい…

私…
大好きな人の事
受け入れてるんだって
全身で感じてる…



んん…っ

あっ…
これなら
大丈夫…

エリオくんが
いいように
動いてみて

すごいよお…
エリオくんが私の中に…
身体も心も頭の中も
いっぱいになってる…

僕も…
キャロで自分の中が
いっぱいにな
ってるよ

あのね…私の中
エリオくん
いっぱい慣らしてほしいの…
エリオくんのは
私が慣らしてあげるから

おお…
牌を押し付け
られながら
揺すられるの
いいよお…

だって…
大好きな人を
受け入れるのって
とっても
嬉しいから

僕だって…
キャロの事
大好きだから
いっぱいキャロと
愛し合いたい!

エリオくん…

告白された…
好きって…
大好きって
言ってくれた!

エリオくんが
大好きなの!!!

エリオくんの
気持ちいい証拠を
私の中で
受け止めたいの!!

エリオくん!
さっきより
いっぱい
私の中に出して!!

分かった…
僕がキャロを
好きな気持ち
全部注ぎ込むからね!

いっぱい動かして
心も身体も
熱くして
エリオくんを
感じさせて
ほしいよ!

嬉しい!!!

キヤロ!!

あ、キ...

キヤロ!!

キヤロ!!

あ、キ...

キヤロ!!

は

ああ...
エリオくんの
熱い精液が
入ってくる...

エリオくんの
気持ち良さやうな顔
可愛い...

すごく嬉しくて...
これが
幸せって
気持ちなのかな

ん





その後。
少し考え、お互い話し合っ
て。フェイトさんに話す事にした。

二人が愛し合い、行為に及んだ事。
これからも二人、力を合わせてお互いを守る事。

自分たちにとって、大切なお姉さんで保護者である
フェイトには知っておいてほしかったのだ。

「そっか…少し早いような気もするけど」
少し複雑そうな表情だったけど
「でも二人で決めた事だし、私は応援するよ」
ギョツと僕たちを抱き寄せ、そう言ってくれた。

「まあ私たちも同じくらいでしてだし、偉そうに言えないね」
その言葉に、みんなで笑ってしまった。

「そうだ、今度二人がしてる所をお姉さんに見せてよ」
「えーっ？ それはちょっと……」
「あ、それじゃ色々教えてください」
「キャ、キャロー……」

早くもちよつと前途多難な気がした。
…強くならなきゃ。

編集後記

読んでいただきましてありがとうございます！

只今、本編はクライマックスに差し掛かっていて（18話）、
とんでもない事になっております。
どうなるのかしら～？

若手4人が、それぞれもう愛しくてたまりません。
いじめないであげて～と叫びつつ。
あー、後もうちょっとで終わってしまうよう…
終わらないでほしいけど、どうもいかず。
ハラハラしながら続きを楽しみにしています。

次はスバルとティア+描きたい欲求満タンです。
シリアスっぽく？
それ以外にも、もっといっぱいっばい。

ではでは、次またお会いできる事を祈りつつ。



制作
恋愛漫画家

発行日
2007年 8月 19日

印刷
Power Print

連絡先
hironasu@mud.biglobe.ne.jp

HP
<http://www.renaimanga.com/>

無断転載・複製はお止めください



リリカルマジカル キャロがんばる

恋愛漫画家 成年向



リリカルマジカル
キャロ
がんばる

恋愛漫画家



リリカルマジカル キャロがんぼる

恋愛漫画家 成年向

